

校訓：人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そして報いを求めるよう
学校教育目標：自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成



薰陶

学校だよりくんとう
2月号 令和7年1月27日
七塚小学校長 稲垣 優子



新しい学年に向けて、みんなでジャンプ！

1月21日(火)は、今年度最後の授業参観を実施することができました。昨年度は、新型コロナの感染拡大で授業参観を中止した経緯があり、何とか今年度は無事に実施することができてほっとしています。

また、授業参観後の6限目に実施した「すくすく集会」にもありました。睡眠時間の短さ、生活習慣の乱れから来る体調の悪さや心の乱れが、大変気になっています。睡眠時間の短さと保健室の来室の相関関係もとても高いようです。「すくすく集会」と関連したワークシートに立てた目標を、これからもしっかり守ることで、心と体の免疫力をアップさせましょう。今後もインフルエンザ等の流行が考えられますが、何とか送る会や卒業式を滞りなく実施できるように、ご家庭でも手洗いやうがいなどの感染防止にご協力ください。

さて昔から「1月は往ぬる、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、今年度も残り2か月、40日を切りました。新しい学年になるための学習のしあげができる限り行い、積み残しのないように学年を締めくくりたいと思います。5年生を中心とした「6年生を送る会」の準備も始まったところです。2月21日には、ぜひ成長した子供たちの姿をご覧いただきたいと思います。そのためにもお子様の体調の変化等にご注意いただき、ご家庭での規則正しい生活等のご配慮を重ねてお願いいたします。



「あいさつは、人への敬意」 by イチロー選手



2学期末の学校評価の結果、「いつでも、どこでも、だれにでも進んであいさつができるいるか」という質問に肯定的な回答をした児童の割合が、62%から58%に減りました。そこで、1月を「あいさつ強化月間」として、わんぱくグループごとにあいさつ運動をしています。「あいさつされる側」から「あいさつする側」に立場を変えることで、少しづつ「自分から先にあいさつする」子が増えてきたように思います。毎朝校門に立っていると、本当にこちらまで嬉しくなるあいさつしてくれる七塚っ子がたくさんいます。そんな子たちには、つい「元気な声だね」「会釈がステキ!!」などと声をかけくなってしまします。校門前の横断歩道では、止まってくれた車に向かって「ペコリ」と会釈して渡る子や車で送ってくださっているお家の方の中にも、運転席から会釈してくれる方が多くいます。毎朝校門前を通る通勤途中の車の方でさえ、私の方を見て会釈をしてくださいます。そんなあいさつを交わすにつづけ、嬉しい気持ちがどんどん心にたまっていきます。どれだけ寒くても心がほっこり温かくなります。

イチロー選手は、「あいさつすることは人への敬意。人は自分だけで生きているわけではない。自分も大切だけど、自分以外の人も大切にしないと、社会では通用しない」と言っています。七塚小学校ではまず私たち大人の教師が子供の前でしっかりとあいさつする姿を見せていくと声を話し合っています。ご家庭でもぜひ「おはよう」「行ってらっしゃい」と元気なあいさつを心がけていきましょう。

